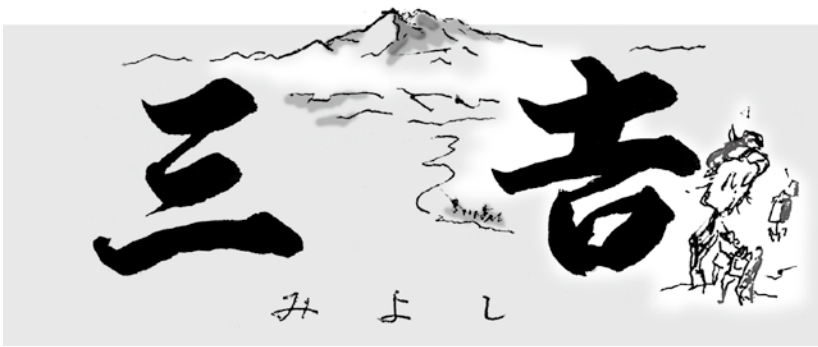




発行所

太平山頂上鎮座

太平山三吉神社総本宮

宮司 田村 泰教

秋田市広面字赤沼3の2

電話 (018) 834-3443

FAX (018) 834-3444

<http://www.miyoshi.or.jp>

早春の太平山

宮司 田村 泰教

今冬は雪も少なく北国もいつになく早い春を迎えた。毎年「山には多くの恵みの雪を、里は程々に」と思うのだが、自然の営みは、当然ながら人間の思い通りにならない。除雪やスキー場など雪にまつわる仕事に就く人々にとっては厳しい冬となった。▽早いもので東日本大震災から五年の月日が経つ。多くの犠牲者の御霊に祈りを捧げ、日々の安寧にありがたさを感じた日々。しかし多くの人々の脳裏から段々とあの時の思いが消えつつある。いつの間にか節電の声も小さくなった。▽当たり前のことが当たり前に推移すること。それは一見何の変哲もない、面白みのない日常に感じられるかもしれない。私たちは事故や天災、病気などの異変が起きてはじめて普通の生活の尊さに気が付く。▽お米をはじめとする農作物は、日本特有のはつきりとした四季の移ろいによりもたらされる自然の貴重な恵み。先ずは天災や大きな事故の無い《普通の》一年になつて欲しいと、年度の始めに思う。

行事日程表

五月七日(土) 午後六時

宵宮祭

春季例大祭

五月八日(日) 午前十一時

当日祭



言挙げ ⑤7

六次産業

権 祐 宜 鈴木 一 美



「六次産業」とは、一九九〇半ばに農業経済学者の今村奈良臣氏が提唱した

造語です。

当初は、土地を中心とした農業や牧畜業・林業・水産業などの第一次産業の「一」と、機械を中心とした一次産業の生産物を加工する製造業・建設業・工業等などの第二次産業の「二」、そして人が中心の商業・金融業・運輸通信業・サービス業・自由業などの、第一次・第二次産業以外の第三次産業の「三」とを「足し算」した「六」になることをもじったものでしたが、三年後には、有機的・総合的に結合を図る「掛け算」であると再提唱しています。

答えは何れも「六」となりますが、一次産業の農地や農業が無くなる＝即ち「〇」になれば、他の産業をいくら強化しても答えはゼロになると力説しています。

「六次産業」は平成二十一年に、国が「付加価値のより多くの部分を農山漁村地域に帰属させ、再活

性化と再生実現」の方策として大綱に掲げた為、社会的に認知度が高まりました。

このトップランナーともいふべきは農産物直売所です。同年度の全国の産地直売所は一万六千八百十六直売所。年間総販売金額は八千七百六十七億円となりました。

翌年には、地産地消の促進や食料自給率向上に役立てることを主な目的として、略称「六次産業化法」が成立しております。

二〇一三年七月には、日本やアメリカ・オーストラリアなど太平洋を囲む十二カ国が、人や物、お金の動きを加速させ、貿易で豊かになるとういう、TPP「環太平洋パートナーシップ協定」が始まりました。

これは立場の違いによって、利点もあれば損失もあります。関税の撤廃や削減は、価格の低下や競争を促がし、取り分け、農家にとっては痛みを伴います。

「わが国の農業を取り巻く内外の状況はますます厳しく、まさに危機的状況にある」と

という声が、喧しくなりました。一つ思い出して頂きたい事例が

あります。一九九〇年頃、アメリカの牛肉とオレレンジが輸入自由化された時の事を。

「日本の畜産農家、蜜柑農家は壊滅する」と、

当時も盛んに危惧されましたが、結果として、味や食の安全性などの点から、国産の牛肉・蜜柑は指示され、今日に至っている事は皆さまでご承知の通りであります。

「言葉には魂が宿ります」言葉の力は非常に大きく影響力もあります。

明日を担う若者やこれから農業をやりたいと思う人には、悪戯に不安を煽る言葉よりも、未来へと繋がる希望の言葉をかけ続けてほしいものです。

近年、学校を卒業後すぐに農業に就業する新卒型就職よりも、他の産業に一度就職した後に、農業をする転職型就職＝所謂Ｕターン就職、中でも仕方なく「家の農家を継ぐ」などの消極的な考え方よりも「自分の食べるものは自分の手で、より安全な物を作りたい」「ネットなどを利用し、首都圏など人にも販売網を拡げた」などという、自らの意志で積極的な考え方が主流になりつつあるようです。

今後、秋田は少子化に拍車がかかり、人口の高齢化が更に進み、二十年后には農業依存率の高い大潟村を除く全ての市町村で人口減少するとのシミュレーションもあります。県都の秋田市でさえ減少

する中で大潟村の活躍は健闘であり、表彰に値する事ではないでしょうか。

言うなれば産業さえ、働く場所さえあれば、若者などが定住してくれる事を如実に示しています。

今年の二月、地元の農産物を使った商品の開発を行う「十七歳の六次産業化プロジェクト」が秋田市内の農業・工業・商業の高校生二十八が参加して五つの商品をお披露目しました。この企画は今年で四年目。農産物の収穫時期などに合わせて商品を作り、十一月上旬にスーパーやコンビニで一斉に発売の予定との事。

一方、市内の大学でも、秋田市の「土産品開発プロジェクト」の一環として、三種類のお菓子を考案し、三月下旬に発売しました。参加者は十名。異文化なる中国やアルゼンチン等のお菓子を参考に、国産色豊かさを強調しつつ、地元の食材の魅力を若者に感じてもらう事や農産物の活躍促進を図ろうとの狙いだそう。こちらも回を重ねること四回目。

双方の商品の中の一つには、昨年末、東京都中央卸売市場への出荷量が、初の日本一になった枝豆が使用されているそうだ。

嘗て、大潟村が稲作のモデル農村と呼ばれたように、高齢化率・日本一、人口減少化率・日本一の秋田が、この逆境をチャンスと捉え「六次産業」のモデル地域として、脚光を浴びる日が来ることを希望ばかりであります。

道東三吉神社参拝旅行のご案内

ご好評につき本年も第3回目となる神社参拝旅行を実施いたします。本年は、当神社のご分社であります道東の三吉神社参拝を中心に、世界遺産知床や網走・釧路・登別温泉等を回ります。定員の限りがございますので、ご予約のつく方はお早目の申し込みをお願いいたします。

○旅行期間：平成28年6月13日（月）～ 6月16日（木） 3泊4日

○旅行代金：153,000円

○団参人数：37名（お申込金を頂いた先着順で締切りとなります）

○申込方法：申込書を持参もしくは郵送願います（申込金10,000円）

○締 切 日：平成28年5月10日（火）



第1回参宮旅行

日程	行 程	宿泊施設	食事
1日目	秋田空港（9:40）⇒ 羽田空港 ⇒ 女満別空港 ⇒ 網走三吉神社 ⇒ 網走監獄	網走湖荘	昼 夕
2日目	宿 ⇒ オシンコシンの滝 ⇒ 知床峠 ⇒ ウトロ ⇒ 摩周湖 ⇒ 阿寒湖畔	あかん悠久 の里鶴雅	全 食
3日目	宿 ⇒ 釧路三吉神社 ⇒ 釧路和商市場（買物・各自昼食） ⇒ 帯廣神社・帯廣三吉神社 ⇒ 登別温泉	登別グラン ドホテル	朝 夕
4日目	登別温泉地獄めぐり ⇒ 千歳 プレミアムアウトレット ⇒ 千歳空港 ⇒ 秋田空港（17:20）		朝 昼

※交通事情等により行程が変更になる場合があります

平成 28 年三吉梵天祭奉納団体ご芳名（順不同・敬称略）

真心こもるご奉納に重ねて御礼申し上げます。

(株) 秋 田 銀 行	大 吉 食 堂	(株) 北 都 銀 行
(株) T T K 秋 田 支 社	(社)新成会老人保健施設友愛の郷	ユアテックグループ
(社) 秋 田 育 明 会	特別老人ホーム新成園	(株)ユアテック秋田支社
広 面 地 区 体 育 協 会	社会福祉法人こばと保育園	東日本旅客鉄道(株)秋田支社秋田駅
広 面 商 工 振 興 会	こばと学童保育クラブ	学 校 法 人 伊 藤 学 園
赤 沼 町 内 会	水 口 町 内 有 志	(公財) 秋田県総合保健事業団
田 中 梵 天 保 存 会	ボーイスカウト秋田第33団	ボーイスカウト秋田第57団
広 面 町 内 会	梶 ノ 目 町 内 会	秋田市立広面小学校3年部
濁 川 梵 天 有 志 会	柳 館 谷 崎 有 志	柳 田 町 内 会
櫻 有 志 会	赤 沼 子 供 会	谷 内 佐 渡 町 内 会
泉 梵 天 奉 納 会	柳 田 子 供 会	原 田 利 正 ・ ウ タ
土 崎 港 有 志 会	谷 内 佐 渡 若 葉 子 供 会	三 吉 節 保 存 会
蛇野・西町・大沢町内会	大 巻 子 供 会	小 野 花 子
蛇 野 町 内 会	神 武 館 三 吉 道 場	青 少 年 育 成 秋 田 市 民 会 議
神 田 有 志 会	神 武 館 田 村 道 場	奥 羽 住 宅 産 業 (株)
(有) エ イ ド	旭 川 幼 稚 園	向 山 有 志
N T T 東 日 本 秋 田 グ ル ー プ	サ ン ク ス 秋 田 広 面 北 店	空 手 忍 会 総 本 部
東 日 本 旅 客 鉄 道 (株) 秋 田 保 線 技 術 セ ン タ ー	蛇 野 若 竹 子 供 会	高 橋 秀 造
下 北 手 振 興 会	(有) 斎 藤 昭 一 商 店	河 辺 荘 通 所 介 護 事 業 所
三 吉 剣 道 ス ポ ー ツ 少 年 団	ひろおもてエコクラブ	神 社 協 力 会
東 部 瓦 斯 (株) 秋 田 支 社	レ ス リ ン グ 北 志 館 道 場	秋 田 韓 国 留 学 生 支 援 会
浅 利 久 雄	(株) 石 川 建 設	

● みよしスケッチ ●



三ヶ日に十萬五千名のご参拝を頂きました。

初詣



巫女説明会 (十一月十一日)



一年の罪穢れを祓い清める節目の神事を斎行しました。

師走大祓 (大晦日)



古くなった神札、お守りなどをお焚き上げいたしました。

どんと祭 (二月三十一日)



新年を控え、斎竹で境内を祓い清めました。

煤払式 (十一月十三日)



梵天祭反省会 (二月五日)



節分祭 (二月三日)

平成28年1月17日(日)

三吉梵天祭

当社の特殊神事三吉梵天祭は、本年日曜日開催ということもあり、多くの拝観者のもと六十四団体様より七十五本のご奉納を賜わり盛会裡に終了いたしました。



春季 例大祭のご案内

平成二十八年春季例大祭を左記の通り斎行いたします。

本年は週末にあたります。ご家族、お仲間
同士お誘い合わせの上、多数ご参列下さいま
すようご案内申し上げます。

記

宵宮祭 五月七日(土) 午後六時

例大祭 五月八日(日) 午前十一時

(各日とも、祭典後直会がございます。)

◎ご参列の方は、四月二十五日までに
係(和田)までご連絡下さい。

(七日) 秋田舞

(八日) 浦安の舞



三吉梵天祭

16 町内による「村梵天」の先陣争い。
熱く激しい奉納が行われました。

